

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
関市西親子教室		令和 8年 3月25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	・やりたいことが重なったり、同じ時間に利用するお子さんが多い時もあるが、あそびに合わせて、担当児が活動しやすいスペースに誘うようにしています。	・昨年度と同様に、各部屋の利用予定を朝会で確認しています。給食室など利用者数に合わせて臨機応変に対応していきます。 ・各部屋を利用しやすいように整えておきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	29%	71%	・利用定員に対する職員の配置数は国の基準を満たしていますが、療育を必要とする方が待機することがないよう、療育回数を調整して対応しています。	・相談件数、通所希望が増えているため、正規、会計年度ともに募集、採用を継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・おもちゃの片付けの場所などイラストや写真を使い、子どもにも見てわかりやすいようにしています。	・活動しやすい環境となるように、随時見直しを行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・使ったおもちゃや多くの人が触れる場所（ドアノブ、電気のスイッチなど）の消毒を毎日行っています。	・今後も清潔で、心地よく過ごせる環境を維持するために、引き続き掃除や消毒を行います。また、療育終了後には子どもや保護者と一緒に片づけを行っていきます。 ・子どもの特性や活動内容に合わせて、職員同士で確認しあいながら環境設定を行います。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・作業をする時に個別室を利用するなど、お子さんが取り組みやすい方法で活動できるようにしています。	・こどもが利用しやすいように常に環境を整えていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・職員会で目標・目的を確認し、事後の振り返りとともに内容を回覧し、全職員が確認できるようにしています。	・議題や課題について、職員で意見を出し合い検討します。 ・行事や月予定の変更などの業務連絡においても、朝会や会議録を利用し職員に周知していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者の意向に対してどのように改善していくとよいかを話し合ったり、その内容を回覧し、全職員が把握できるようにしています。	・今後、検討が必要な課題がある場合は職員全員で意見を出し合い、業務改善に努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・朝会や職員会議を活用し、情報共有に努めています。	・業務改善について、職員の意見を出し合い検討していきます。 ・今後も、職員同士が話しやすい環境作りに努めます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・第三者による外部評価は受けていませんが、外部の職員、有識者、終了児保護者などに協力いただき運営委員会にて意見を伺っています。	・運営委員会を開催し、事業に関する課題を検討していきます。 ・清掃にご協力いただいているシルバー人材の方にご意見をいただいています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・正規、会計年度に関わらず研修に参加することができる環境になっています。参加した職員が研修内容を報告することで、全職員の資質の向上を図っています。	・研修を受けやすくするため、研修時間を確保しやすい環境作りや、次年度の研修予定や研修計画を立てていきます。 ・職員間のケース検討会の実施を増やし、資質の向上に努めます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・見やすい場所に掲示しており、加えて契約時や面談等の機会に都度周知しています。	・掲示してあっても見ていないという利用者がおられたので、支援プログラムの内容の周知に努めます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・年度末に行う発達検査だけでなく、半年に一回、保護者、担任、児発管で面談を行い親子のニーズや支援内容を確認しています。	・子どもの捉えや理解を深めるために、アセスメントの実施、担当者会議、保護者との面談をする時間を計画的に確保するよう努めます。 ・保護者の方が読みやすい内容について検討していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・日頃から子どもの様子や保護者の話を児童発達支援管理責任者と共有し、保護者との面談を通して整理しながら、計画を作成しています。	・子どもの捉えや理解を深めるために、ケース会議、担当者会議、保護者との面談をする時間を計画的に確保するよう努めます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・他の職員と共有し、支援の際に必要な場面で協力し合っています。また、職員間でお子さんの様子について振り返り話すことで、お子さんや保護者への理解につなげています。	・今後も、子どもの姿やニーズを把握するとともに、保護者の意向を聞きながら児童発達支援計画を作成、必要に応じて修正し、職員間で共有し計画に沿った療育を行います。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・年度末に発達検査を実施する他、必要に応じて検査を実施したり、医療機関や他機関での評価を保護者を通じて共有に努めています。	・多方面から客観的に把握できる検査の利用の検討や子どもを理解するための職員の資質向上ができるように、今後も外部講師による研修、圏域で実施されるアセスメントや発達支援に関する研修へ参加していきます。 ・今後も、インフォーマルなアセスメントとして、療育時の行動観察の様子を記録し、計画や支援に活かしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・お子さんの実態と保護者のニーズを照らし合わせながら、必要な項目を設定し、その家庭に合った具体的な内容を考えています。	・今後も児童発達支援ガイドラインのねらいを職員間でも確認しながら、利用開始時の説明に合わせて、一年に一度再確認できるよう努めます。また、保護者がわかりやすい説明の仕方を考えます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・お子さんの実態や予想される姿を職員間で共有しながら、活動内容を計画しています。	・今後も個別活動と集団活動について、意義や活動内容、療育の方法など職員で話し合い情報を共有しながら計画していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・お子さんの実態や興味に合わせて、別のやり方や活動内容を提案しています。	・今後も療育の内容が固定化しないように、職員間の情報交換や子どもの興味やあそび方について、その都度見直しを行います。あそびの種類や、あそびの中で育まれる力について、職員間で意見交換する機会を作ったり、手あそび、リズムあそび、グループでのあそびなどの研修を行います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・お子さんの実態に合わせて、同年齢や校区別、同じものが好きなお子さんなど、それぞれの目的に合わせた組み合わせで、お子さんに合った内容の、小集団での活動を計画しています。	・今後も同様に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	・お子さんの活動内容に合わせて個室を使うなど、必要な情報を共有しています。	・事前の話し合いや準備時間の確保がしやすいように業務内容や勤務時間の使い方を検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・打ち合わせの時間だけでなく療育活動中に同じ活動をするようになった担任とその時の様子を振り返って話すなど共有する時間を大切にしています。	・振り返りの時間の確保がしやすいように業務内容や勤務時間の使い方を検討します。 ・振り返りの内容を記録し、職員間で共有できるようにしたり、次の活動に活かせるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・担当児の記録はもちろん、関わりの悩み、気になること、疑問など隙間時間を利用して職員間で交流しています。	・記録を書く時間の確保、記録の内容、書き方など、より改善できるよう見直ししていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に一度、または必要に応じて保護者と面談を行い、具体的な目標や支援について振り返り、次期に取り組んでいくことを考えています。	・今後も面談を半年に1回行い、支援計画や療育内容の見直しを行います。 ・支援計画の作成が円滑に行えるよう、日頃の業務時間の使い方や記録の取り方など工夫します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・同施設内に相談支援事業所がある利点を生かし、日頃から相談支援専門員とお子さんの様子や保護者の思いを共有しています。	・今後も子どものニーズや環境、保護者のニーズなどに合わせ、担当者会議のメンバーを検討していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・必要に応じて保護者とともに関係機関と連携をとったり、つながりを作り、情報を得ています。	・今後も連携が必要な関係機関や、連携の方法、内容等について検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者のニーズに応じて、園や学校の見学や個別相談、三者懇談などを行っています。	・通所児親子が安心して就園できるよう、今後も保護者のニーズに合わせて情報提供を行うことで関係機関に引き継ぎ、連携を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者の意向を受けて就学予定の学校見学や個別相談への同行、就学時の引き継ぎを行っています。	・安心して就学を迎えることができるよう、また学校生活が充実出来るように今後も引き継ぎや情報共有を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	・ケース検討会を合同で行い、センターの職員からも広く意見、助言をいただいている。普段はない意見を聞くことでお子さんへの理解が深まり、新しい捉え方を学ぶ機会となっています。	・今後も地域の児童発達支援センターと連携を図り助言を受ける機会を作ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・園訪問にうかがい、その中で職員も一緒に地域の他の子どもと共に活動しています。	・今後も、通所児以外の子どもと活動する機会を作るよう努めます。 ・地域資源を活用し交流しながら生活経験を重ねられるようにします。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・療育活動中での会話やノートの活用、電話、療育とは別の時間での面談等、保護者に合わせた方法でお子さんの様子や捉え、成長を伝え合い、共通理解を図っています。	・親子に合わせた伝え方や、一方的な伝達にならないよう、どのような伝え方がよいのか、また、保護者の子どもへの思い、課題等について、どのように聞き取りをしていくことがよいのか、など検討します。 ・面談の時間の取り方の工夫や時間の確保に努めます。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・保護者の方にも活動に参加していただき、お子さんの様子を一緒に見ながら、お子さんの捉えや必要な支援について共有しています。また、必要に応じて研修を案内したり、資料や情報を提供しています。	・親子療育やペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムについて、職員が知識を持ち、必要な療育や支援を考えていきます。 ・家族支援プログラムについて、保護者への情報提供の方法を検討します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時だけでなく、年度始めなど、都度書類や掲示を見ながら説明しています。その際には担任ではなく別の職員が説明にあたることで、保護者からの質問にもお答えしながら丁寧に説明しています。	・今後も利用開始時の説明に合わせて、年度初めに再確認できるよう努めます。また、保護者がわかりやすい説明の仕方を考えます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者との面談で支援計画の内容について確認し、作成後も再度読んでいただき、取り組んでいく内容を確認しています。	・今後も、子どものニーズや姿、保護者の思い、環境等を把握しながら、児童発達支援計画を作成します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・面談時の話やお子さんの実態に合わせてながら、作成した計画を説明している。読んでいただき、意向に沿うものであればサインをいただき、意向とは異なる目標、計画だった場合は、修正したり、ニーズに対する見直し、どのように取り組んでいくかを保護者と話し合っています。	・今後も、面談時に確認した内容に沿った児童発達支援計画を作成し、保護者に説明の時間を設け、同意を得ていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・半年に一度の面談を行い、保護者の思いや悩みを聞き、助言や支援を行っています。また、必要に応じて療育中でも他の職員の協力を仰いだり、療育時間以外に来ていただき、じっくり話を聞く機会を設けています。	・今後も、定期的に保護者との面談の機会を作り、相談に応じていきます。 ・保護者が相談しやすい雰囲気作りや職員との信頼関係作りを大切にしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・家族で参加できる行事を開催しています。きょうだい同士がつながる機会や、普段療育に來られない家族に親子教室について周知する機会になっています。	・今後も、親の会活動について分かりやすく、見やすい掲示を工夫したり、保護者とともに活動内容を考えるなど、親の会活動を支援していきます。 ・今後も、保護者同士の交流だけでなく、行事など家族同士が交流できる機会や方法を考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・担任、他の職員、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員で連携をとり、協力しながら保護者の悩みを聞き取り、レスパイト機能を果たしたり、他の福祉サービスに繋ぐなど、迅速に必要な支援をおこなっています。	・今後も必要に応じて、保護者と話す時間を確保し相談に応じたり、担任以外の職員も含め、話しがしやすい関係を日頃から作っていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・掲示と合わせてすぐるを活用することで、月通信や行事案内、親の会からのお知らせ、その他感染症対策など時期に合わせた連絡を、全通所児保護者に情報が行き届くようにしています。	・今後も「すぐる」を活用した情報配信を行います。配信に当たり、保護者が見やすい、分かりやすい内容となるよう努めます。 ・行事予定を早めにお知らせしていきます。 ・掲示内容を保護者の悩み事や関心事に合わせて、担任から伝えます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	86%	14%	・サインをいただいたり、保護者に書いていただく書類は、周囲から見えないように伏せたり折りたたみ式のバインダーを利用する、保護者に声をかけてから片付けにいくなどしています。また、保護者と話す内容についても、プライベート性の高い話題は、周囲に他のお子さんや保護者が活動している場合は避けるようにしています。	・個人情報職員室に貼ってあるので、なるべく上に紙を貼るなど工夫していきます。 ・今後も、個人情報の取り扱いに十分に注意します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・療育日は口頭で伝えるだけでなくメモやノートに書いて手渡す、必要な資料を見ながら話すなど、工夫しています。	・各職員が配慮している事柄について、職員間で情報共有し、意思の疎通や情報伝達のために何が必要か検討していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・地域の民生委員さんに託児のボランティアにきていただいたり、体験活動を通して地域資源を活用しています。	・感染症対策を行いながら、地域の方々との交流など、どのような活動が可能なのか検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・避難訓練を行うだけでなく、年度始めや通所開始時にマニュアルを策定していることや、通所にあたって知っておいていただきたいことを説明しています。	・今後も、実施した訓練内容、各種マニュアル等を通所児保護者に周知するよう努めます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・避難訓練を実施したり、参加していない親子にも月通信や報告の掲示、すぐるでの配信を通して共有を図っています。	・今後も、業務継続計画の確認・見直しを定期的に行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者や医師から情報提供があったものを全職員で共有し、対応の仕方を確認しています。	・基本情報の変更等がある時は、保護者から申告してもらい、面談で確認し把握していきます。 ・確認した内容について職員で共有します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・給食の提供を希望している方の療育日前や、調理活動を計画する際には、アレルギーの有無について医療機関への受診歴も含めて確認しています。家庭で食べたことのない食材は控えていただくようにし、都度確認しています。	・アレルギーで通院している子どもについて保護者の意向を確認し、職員で共有するとともに、配慮することについて検討していきます。 ・飲食する場合は事前に保護者と職員で話し合い、調理員と連携を取っていきます。

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・調理活動、体験活動など、いつもと異なる活動については、定期的に注意することを職員間で確認しています。また、散歩や水あそびは気温、周囲の状況(野生動物の情報など)から実施の有無や方法を都度検討しています。	・今後も、安全対策訓練計画を基に訓練・研修を行い、安全管理に努めます。 ・職員でヒヤリハットの報告・共有を行います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・避難訓練や年度始め、通所開始時に非常時の対応や危険区域について保護者に説明しています。	・安全対策訓練計画の掲示を分かりやすくし、年度初め、通所開始時に保護者に説明し、周知していきます。 ・遊具の使い方や活動への取り組み方など、安全に行えるよう、親子への安全指導の方法について職員で研修を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハット事案を職員会議で報告し、危険箇所を共有したり、今後の対応や改善すべき点を話し合っています。	・ヒヤリハットの報告、事例集の共有を図るとともに、予防対策について職員間で検討していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・月に一度セルフチェックを行っている。 ・年1回岐阜県が開催する研修に参加した職員が職員会にて内容報告し、職員全員で共有するようにしています。	・今後も、職員全員が意識できるよう、定期的にセルフチェックと振り返りを行っていきます。 ・虐待防止研修に代表者が参加し、研修内容を報告、情報共有できるようにします。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・担任、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員とお子さんへの関わり方や、緊急時の身体拘束の必要性について検討を重ねた上で、必要性がある場合のみ行うことを保護者にも説明し、計画にも記載しています。	・身体的拘束について必要に応じて保護者と相談したうえで、児童発達支援計画に記載していきます。